



こんにちは 大浦正志 です

「福祉の心」で災害から住民を守る

東日本大震災発生からまもなく1ヶ月が経とうとしています。いまだに、多くの行方不明者が発見されず、また「多くの方が不安な避難生活をされています。また、原発事故が深刻な問題となり、その抜本的解決の見通しも立っていません。そうした中でいっせい地方選挙がすすめられています。音更町は、海に面していないので津波の心配はありませんが、今度の震災で改めて防災について考えさせられています。この間、各所で『山びこ』のつどいを開き、その中でも防災に対するご意見を聞くことができました。避難所や貯水槽施設などハード面の強化も大切ですが、町内会活動などのソフト面、コミュニティーの充実や防災意識の向上、地域のネットワークづくりに行政がどう支援していくかが大切だと思います。

選挙活動自粛について

東日本大震災の被災地への配慮から、いっせい地方選に向けた選挙活動を自粛する動きが広がっています。音更町議会議員選挙でも、共産党を除く会派が選挙カーによる運動について申し合わせを行ったそうです。こうしたことについて、北海道新聞3月22日付社説は「議論まで縮こまっては」と掲載しています。今後の4年間をどうしていくかという有権者の審判を仰ぐ大切な選挙です。日本共産党は被災者や住民生活に配慮しつつ、地方政治についての政策を述べて選挙戦に望みます。

福祉・防災のまちづくり 住民の命とくらしを守る 道政・町政に



今回のいっせい地方選挙は、このような状況の中で行われます。知事候補には「明るい革新道政をつくる会」から、宮内さとし(日本共産党推せん)が立候補しています。また、音更町議選挙には、共産党から4名が立候補を予定、この地域からは大浦正志が立候補いたします。

春の日ざしがさしこむ、あたたかな季節になりました。
3月11日、東日本を襲った観測史上日本最大の大震災と原子力発電所の事故、亡くなった方やご家族に哀悼の気持ちを申し上げます。
私たちは、被災者への支援と復興、原子力発電への危機的対応が緊急に求められます。

山びこ

発行

日本共産党木野後援会
音更町宝来仲町南1丁目12-7
電話・FAX 43-5135

部内資料

私たちは、今回の選挙で「福祉・防災のまちづくり」住民の命とくらしを守る北海道・音更町をつくるために全力をあげます。より一層の支持の輪を広げていただきたいと思い、次の訴えをさせていただきます。

◆知事には宮内さとし、町議には大浦正志支持の輪を、知人、友人の方に広げてください。

◆4月15日(金)午後6時半から、宝来福祉館で行われる「大浦正志勝利のつどい」に、ご参加ください。お待ちしております。

◆大浦正志候補支援のため、お手伝いいただける方は次のところにご連絡ください

(電話 43-5135)

2011年4月1日

日本共産党大浦正志選対本部長

塚原 三平

日本共産党木野後援会世話人代表

飛岡 久

宝来中央公園 ふんすい 噴水施設

見通しつく

夏のあついとき、ふん水施設がほしいという要望にこたえ、音更町は平成24年調査・設計、平成25年から26年施工にむけて取り組んでいます。もっとは早めることが求められます。



こんどこそ 議会へ

大浦正志勝利のつどい

4月15日(金)午後6時30分

宝来福祉館

